

2019

明るく住みよいまちへ

城東だより

発行

城東地区
各種団体協議会
電話 635 - 8041
印刷 榊井上総合印刷
電話 661 - 4723



城東放課後子ども教室
親子工作ミニ門松づくり



私にとって平成の時代とは

城東地区連合自治会 会長 吉澤潤



皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。本地区は躍進の四十三年目の年です▼本年五月には、歴史的な譲位の継承により、新元号が始まります。皆様方にとって「平成の時代」とはどうでしたか。私は二つの事柄について述べたいと思います▼一つ目は、最大の特徴として通信機器や情報機能の技術革新が飛躍的に進展し普及し定着したことです▼私が会社勤め当時は、外出時にポケットベルを所持し、着信音と同時に公衆電話ボックスに駆け込み用件を済ませました。社に戻れば依頼案件をワープロで作成し、書類を直ちにファクシミリで送信してから電話打合せの確認を行うといった具合。次に、コンピューターによるパソコン業務が主流になり、仕事の効率と省力化の達成感を得られたが、時間との戦いを強いられた感があった十年前の出来事でした▼今やAIの出現とIoT社会構築が、当たり前になり日常生活に欠かせなくなっています。便利さの追求より人との付き合いを大切にすることを忘れないで欲しいと思います▼二つ目は、絶対忘れてはならない東日本大震災です。地震で停電になり、一日を経て復旧したテレビ映像での凄まじい津波被害と心が痛む原発事故の出来事が記憶として残っています▼私は今から八十四年前に出版された「天災と国防」という一冊の本が蘇りました。作者は物理学者であり随筆家である寺田寅彦です▼日本国土は災害列島で大規模な自然災害は予想不能だが、備えることはできません。歴史に学び、災害が起きていない時に十分な防災対策を講じていないと同じ事が繰り返され、それは人災であると彼は述べています▼皮肉にも、昨年の世相を表す漢字一文字は「災」が選定され、北海道胆振東部地震、西日本豪雨災害、台風被害、猛暑(酷暑)などと全国的に自然災害連鎖の脅威を痛感しました▼一方、災害報道に対する私たちの対応力の脆弱性も明確になったと共に、地区防災会との連携強化を図り、新たな防災対策と意識の強化に取り組む事の必要性を感じた昨今です。穏やかで明るく災害のない年になるよう祈念します。



◀ 9月16日 敬老会



出の ルバム



▲ 8月18日 納涼フェスティバル

福祉協力員 視察研修会

昨年から高齢者一人ひとりが、日常生活を地域で支え合いながら安心して暮らし続けることができる社会である「地域包括ケアシステム」を具体化するため講師を招き、第二層協議体の取組と組織づくりの勉強会を行っています。

今回は、大田原市の安心生活見守り事業概要と、平成二十六年から活動を実施している川西地区見守り隊の皆さまから講話を頂きました。隊の活動スローガンは、

「声かけは地域で暮らす合いことば」と「おたがいさまでささえ愛ながら生きていく川西地区」です。

今後は、多くの方々との意見交換会を行いたく、宜しくお願ひ申し上げます。





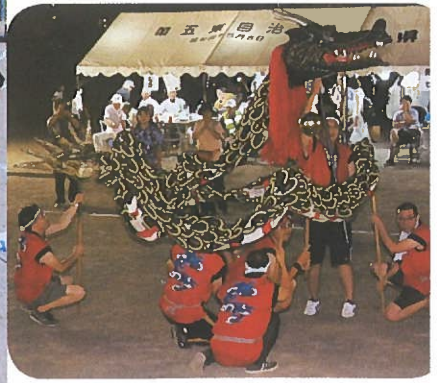
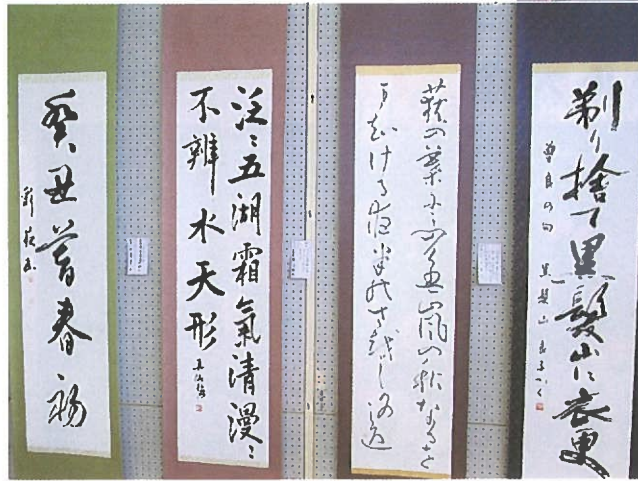
文化祭 10 月 20・21 日



10 月 7 日 体育祭



2018 思いア



この看板は四箇所設置されました。片面と両面の看板で、その形状がそれぞれに異なります。走行中の確認は危険です。御注意をお願いします。

城東地区まちづくり懇談会が開催された際に城東小西側の市道今泉・川田線の一区間を「城東通り」と要望し、昨年七月末に一七三番目の道路愛称が決定されました。

愛称『城東通り』看板設置

連載 第十一回

「腰抱稲荷の由来」

作 くまくら けい

強い雨を降らせた黒い雲が去ると、辺りはすっかり明るくなっていた。「雨が上がった。さあ、発ちやしよう。」

馬子は外に出て、濡れた馬の背の水を払い、「急ぎやしよう。」と声を掛けてきた。下僕はタキの手を引き、母を促しながら外に出た。「御新造さん、大丈夫でございますか。もう少しの辛抱でございます。」

雨の後の山の空気は、さわやかで清々しかった。タキはこの旅の中で、母と下僕の会話から、下僕の名が「忠助」ということを知った。

ようやく法師の湯に着き、山の湯の宿に泊まることができた。翌日、母は歩くと言いだしたが、タキにはこの道は無理だから、と忠助の言葉に従い中之条まで馬を使うことにした。

新治村を経て中之条の宿に着いたとき、母は高熱を出していた。忠助は、厩橋（現在の前橋）まで何

んとかして連れて行ければ、そこには医者もあろうと母を励ました。中之条から別の馬を頼み、渋川から厩橋への道を急いだ。厩橋からは平地となるが、ここが最後の山道である。母は、少し元気を取り戻した様子に見えた。

渋川の宿から利根川沿いの道は、榛名や赤城の高い山が左右に見える。無理のない早さでも、一時ごとに山の形が変わり目的地へ近づいていくのがわかる。やがて右手に妙義山が森の上に見えてきた。

利根川を渡り田口を過ぎ、大きな萱の木が見えてきたころ曇り空となり、雨模様と成ってきた。小雨が落ちてきたので、農家に雨宿りした。農家には誰も人が居なかった。納屋らしき小屋には、藁を梳いた跡に柔らかい藁しびが山になっていた。藁しびに腰を下ろすと柔らかな温もりに包まれ、倒れるように横になってしま

い、うとうとと眠ってしまった。「無礼な、赦しませぬぞ。」突然の母の奇声に、タキは立ち上がった。忠助も立ち上がり脇差しに手を掛けた。

表彰おめでとう (平成30年度)

- 8月29日 栃木県社会福祉協議会会長表彰
- 10月6日 宇都宮市市民会議青少年健全育成功労者表彰
- 11月23日 宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり市長表彰
- 11月24日 うつのみや人づくりフォーラム教育支援者表彰
- 12月1日 宇都宮市地域自治振興功労者表彰
- 1月25日 栃木県自治会活動功労者知事表彰

- 寺田 秋子
- 小堀 仁
- 伊藤 君江
- 大槻 一徳
- 竹内 正道
- 高橋 勇

ソフトボール大会



▲準優勝 築七東チーム



▲優勝 平松西Aチーム

城東地区体育行事成績

○バレーボール大会 平成30年6月3日

- 優勝 築五東チーム
- 準優勝 宇大西チーム
- 第三位 築七東チーム

○城東地区体育祭 平成30年10月7日

- 優勝 平松西 八十七・五点
- 準優勝 築七東 八十三・五点
- 第三位 築五東 八十二・五点
- 第四位 築九 七十二・〇点
- 第五位 宇大西 六十五・〇点
- 第六位 県 住 六十二・〇点
- 第七位 宿五東 五十四・〇点

○ソフトボール大会 平成30年11月4日

- 優勝 平松西Aチーム
- 準優勝 築七東チーム
- 第三位 県住チーム

平成31年前期行事予定

- | 月日 | 行事 |
|------|-------------|
| 1・12 | 新年顔合わせ会 |
| 1・20 | 城東小創立記念日 |
| 3・18 | 城東小卒業式 |
| 6・上 | 地区バレーボール大会 |
| 6・下 | 城東納涼フェスティバル |
- 実行委員会発足

編集後記

平成三十年を表す漢字が「災」だったように、日本中が地震や水害に見舞われています。被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

今年も元号も新しくなり、明るい年になることを期待します。(Y)